



平成22年1月10日発行(毎月1回10日発行)

函館商工会議所報

ともしえ

2010

1

No.324



CONTENTS

巻頭特集 函館マリンサイエンスパーク

整備基本計画

- ◆健康情報..... P17
- ◆街の元気・情報交差点..... P18
- ◆新春紙上名刺交換..... P20

函館商工会議所ホームページ
<http://www.hakodate.cci.or.jp/>

Consulate Bridal

宗教によらない自由な形の結婚式です。
函館市旧イギリス領事館で交わす
調印式をイメージするお二人の将来を約束する誓いは、
きっとドラマチックな思い出となることでしょう。



おふたりにいちばん近い方々に囲まれながら、領事館を訪れる方々の賑わいのなかで、出発を祝うコンサレートウェディング。
外国旅行での経験や映画のシーンを思い出すチョットおしゃれなウェディングセレモニーです。



挙式の後のご会食は館内レストランで…。



ガーデンでの挙式〔5月～10月上旬〕
館内での挙式〔10月～12月、1月～4月〕
コンサレートウェディングプラン
¥150,000(税別)
(挙式料・衣裳・美容・着付・写真)

領事館結婚式

函館市旧イギリス領事館

Old British Consulate of Hakodate

函館市元町33番14号

TEL.0138 (27) 8169(ブライダル直通)

ともえ

1月号

(通巻324号)

- 2 年頭所感
- 4 新春特集
- 8 会議所のうごき
- 11 会員企業ご紹介
- 12 優良商工従業員表彰式
- 14 中小企業相談所だより
- 16 新幹線情報
- 17 健康情報
- 18 街の元気・情報交差点
- 19 ご案内
- 20 新春紙上名刺交換
- 26 観光コンベンション情報
- 27 全面広告

◆今月の表紙

新春の光を浴びる函館市街。

うっすらと雪が積もり、2010年を迎えた。

(写真提供：小松 英海 氏)



謹賀新年

旧年中は格別のお引立てを賜り
厚く御礼申し上げます。
本年も会員皆様にとって、良い年で
ありますよう心からお祈り申し上げます。



広告掲載企業

北海道旅客鉄道(株)函館支社	裏表紙
(社)函館国際観光コンベンション協会	表紙裏
アクサ生命保険(株)函館営業所	裏表紙裏
(社)函館地方法人会	P27
函館青色申告会	P28
(有)梅乃寿司	段下
(業)英知国際特許事務所	段下
中小企業基盤整備機構	段下
(株)クラーク総研	段下
龍文堂印刷(株)	段下

年頭所感



函館商工会議所 会頭

高野 洋 藏

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

会員の皆様におかれましては、今年こそは何としても景気回復へという願いをこめて新しい年をお迎えしたと存じます。

しかしながら、不況という長いトンネルから容易に抜け出せないまま、昨年暮れにかけてのドバイショックをもろに受けてのドルの変調等による円高が進み、政府はデフレ宣言をするなど、経済状況は一段と混迷の度合いを深めておりますが、一刻も早く一縷の光明が差し込んでくることを期待せずにはられません。

ところで、昨年 of 世相を反映した言葉の流行語大賞に「政権交代」が選ばれたことは、記憶に新しいところでありますが、流行語トップテンの中には、「事業仕分け」という言葉もノミネートされました。この「事業仕分け」の作業は、国の行革刷新会議・作業グループによって九日間にわたって進められたものでありますが、かつて国民の税金がどの様に査定され、予算編成されるかを多くの国民は知るよしもなかっただけに、連日報道される仕分け作業の展開に係わるニュース等は、随分と国民の関心を集めました。

税金に限らず、私共の日常生活において無駄を排除するという事は極めて大切なことであることは言うまでもありません。しかし昨年実施された「事業仕分け」の中には、これまで長い時間をかけ、汗を流し苦勞して積み重ねてきた事業までもが、極めて短時間の中でいとも簡単に処理されるなど、視点を変えてみれば、これから水を注ぐことで熟成しようとする事業や将来を託すべく夢の事業の芽さえ、“無駄”という一言のもとに廃止してしまうことに、果たして将来の日本はどのようなのかといった不安ととまどいさえ感ぜずにはられません。

そのひとつに、当地域が昨年七月に文部科学省の「グローバル拠点育成型知的ク

ラスター創成事業」に採択された「函館マリンバイオクラスター」があります。

この事業は、地域産業の競争力の強化や新産業の創出等をめざして、産学官の連携活動が行われてきた地域において、地域の自立化を促進しつつ、国際的に強み・特徴のある研究ポテンシャルや技術的コアとなるシーズを生かし、グローバルな展開を図ることで、国際競争力を持った地域クラスターの育成を推進しようとするものであります。

ちなみに文部科学省からの資金投入は、平成二十一年度から五年間にわたり、毎年三億円程度総額十五億円が予定されており、(財)函館地域産業振興財団を中核機関として、研究開発も緒についた矢先であるだけに、仕分け作業の判断はともあれ、政府レベルでの的確な判断のもとに予算付けにおいて是非とも継続していくことを強く願ってやみません。

さて今年十二月には、いよいよ東北新幹線の新青森までの開業が実現します。「縄文と未来の融合」を表現しているというデザインの新青森駅も外観が完成し、工事也大詰めを迎えました。

一方、北海道新幹線の建設におきましても二〇一五年度の開業をめざし、六年目を迎えた工事は、トンネルの削掘から明り部分の工事へと順調に進捗しております。青森開業は、五年後に迫った新函館までの開業を確かなものにしておりますだけに、一昨年十一月に北海道新幹線開業はこだて活性化協議会が精根こめて策定したアクションプランのプロジェクトを着実に押し進め、地域としての受け皿作りを万全なものにしていくことが不可欠であると考えております。

また昨年十一月には、「はこだて観光圏整備推進協議会」の設立準備会が立ち上げられ、近々協議会が発足致します。渡島・檜山の十八市町とその観光協会が、道南全域をひとつの観光圏として位置づけて、周遊ルートや農林水産業の体験メニューを盛り込んだ滞在型観光を全国にアピールし、観光誘致を図ろうというのが最大の狙いでもあります。

厳しい経済情勢にあって、単に苦境の中で夜明けを待つのではなく、地域が目的をひとつにして足腰を強め、他地域からの集客を高めるための各種プロジェクトも着実に進められておりますので、私共函館商工会議所といたしましても、地域のオピニオンリーダーとしての自覚を新たし、新しい年を地域経済の活性化と会員企業の経営安定のため、最大限の努力を惜しまぬ決意でおります。

皆様方の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

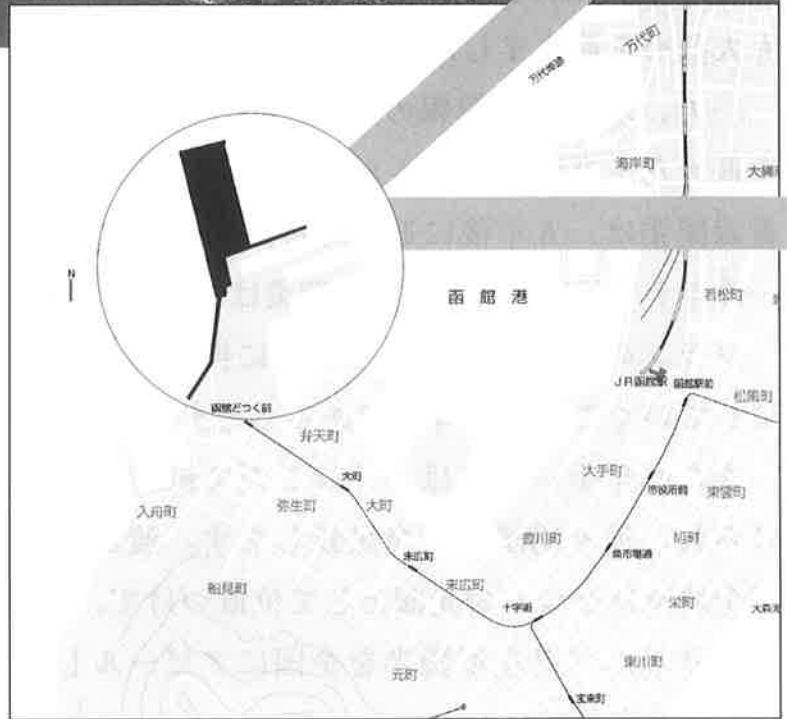
新春特集

函館マリンサイエンスパーク 整備基本計画

本号では、函館市が昨年12月に整備基本計画をまとめた函館マリンサイエンスパーク(仮称)を特集します。

マリンサイエンスパークは函館国際水産・海洋都市構想(※7頁で紹介)における研究拠点基地として旧函館 Dock 跡地に整備し、学術研究の拠点としてはもちろんのこと、多くの市民が「海」と「科学」にふれあうことができるシンボリックな施設として誕生します。

今後の整備スケジュールは6頁で紹介いたします計画のもとに進んでいく予定となっております。

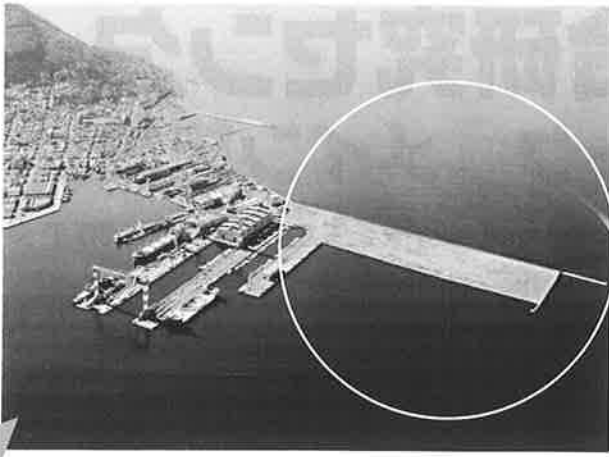


港湾機能エリア

調査研究船の寄港する「ふ頭用地(弁天ふ頭)」や癒しの空間となる「港湾緑地」のほか、「臨港道路」、「港湾関連用地」、「護岸」といった施設を取り囲む港湾整備事業のエリアとなります。

市民交流エリア

海と親しむためのオーシャンウイークなど、様々なイベント開催が可能となる市民交流エリアや、実際に研究内容を見学できる屋外水槽、タッチプールなどといった屋外展示エリアとなります。また、太陽光や風力などの自然エネルギーを活用・実験するスペースとしても活用されます。



イメージ図（平成19年8月作成）

研究開発拠点エリア（メインエリア）

(1) 研究開発機能

学術研究機関を集積し、世界をリードする研究開発拠点を形成します。ここでは基礎分野から事業化を目指す応用分野まで、多くの研究者が集まり、連携や共同研究を行います。また、海に囲まれた立地条件を生かし、良質な海水の取水機能や港湾機能を整備するとともに、学術研究機関と地域企業の連携を拡大することで、地域経済の発展に貢献します。

(2) 産学官連携機能

① コーディネータセンター

地域の産学官連携をさらに発展させ、各学術研究機関の機能や活動を有機的に結ぶ拠点として、コーディネータセンターを設置し、研究開発後の知財管理やマーケティングといった事業化へ向けたサポート機能も整備します。

② 社会教育での活用

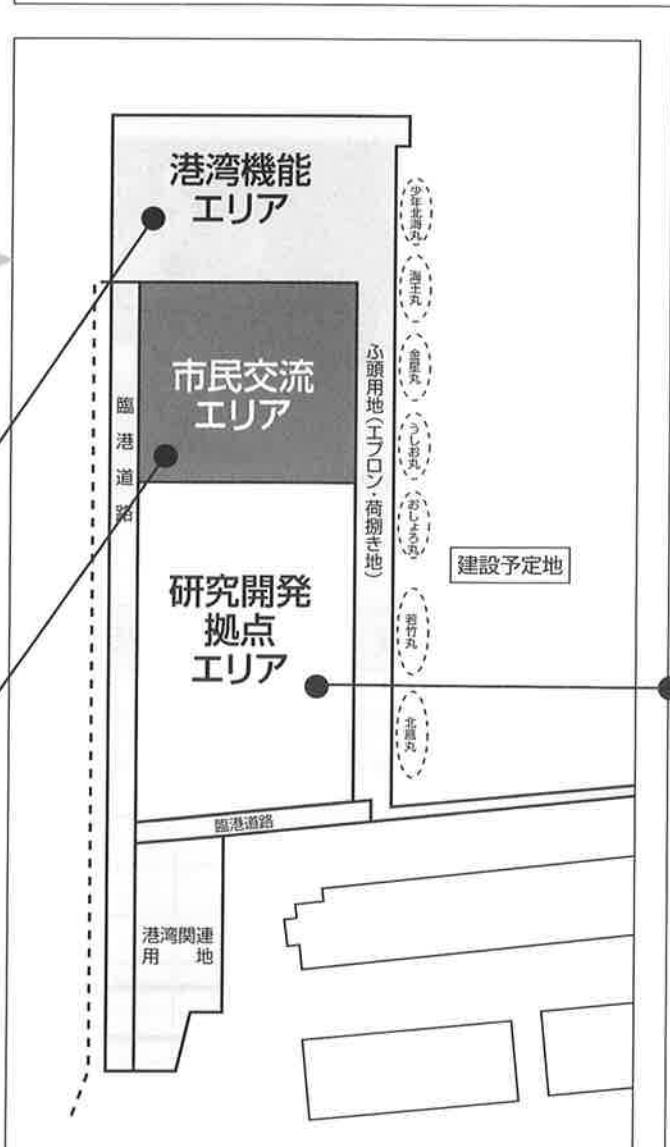
研究を公開する講座や小中高生対象のサマースクール、体験学習などの開催ができる機能や、市民さらには観光客が海とふれあい、水産・海洋分野の研究を理解できるような展示スペースを整備します。

③ 学会等での活用

IT化に対応した会議室などを設置し、学会や勉強会、異業種交流等を開催し人材育成機能としても活用します。

④ キャンパス・コンソーシアムでの活用

市内8高等教育機関が組織の連携を図り、研究や地域貢献を行っている「キャンパス・コンソーシアム函館」の活動を促進することが出来るよう活用します。



国際水産・海洋総合研究センター マリンサイエンスパーク メイン施設

総合研究センターで展開される研究は、基礎的研究から地域の特徴を生かした応用研究まで多岐にわたるテーマが想定されます。

○基礎的分野

- ・生物の生態や遺伝子に関する研究
- ・機能性物質の組成や働きに関する研究
- ・複雑系情報科学による自然現象の解析に関する研究
- ・設計・制御技術や素材解析に関する研究

○有用資源の利用・高付加価値化

- ・食品・医薬品への応用に関する研究
- ・工業材料への応用に関する研究
- ・バイオマスエネルギーに関する研究
- ・廃棄物の処理や活用に関する研究

○資源の管理・保護

- ・持続可能な資源管理や生態系の保護に関する研究
- ・海洋環境の計測・予測技術や情報化に関する研究
- ・種苗の育成や魚礁に関する研究
- ・沿岸や海洋環境を保全する土木・機械技術に関する研究

○流通や経営基盤の強化

- ・情報化や機械化による省力化に関する研究
- ・生産者の経営安定化に関する研究
- ・消費者ニーズに対応した生産・流通システムに関する研究
- ・産学官の連携に関する研究



▲多くの市民が詰めかけたオーシャンウィーク



▲新たな地域ブランドとして経済効果を生んでいるガゴメコンブ



▲市民が海とふれあい、研究を理解してもらうための体験学習

■整備スケジュール

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
基礎調査							
基本計画							
基本設計							
地質調査							
実施設計							
用地取得							
造成工事							
建築工事							
供 用							

工事、供用開始のスケジュールについては、基本設計および実施設計時の詳細検討により前後する事が予想されます。

※函館国際水産・海洋都市構想とは？

ここでは、マリンサイエンスパークを整備するうえで大前提となっている「函館国際水産・海洋都市構想」の概要を掲載します。

函館国際水産・海洋都市構想は、函館市が平成19年10月に策定した「新函館市総合計画」が目指す将来像のためには、なくてはならない構想と位置づけられており、具体的には三方が海に囲まれた貴重な立地条件や北大水産学部をはじめ多くの学術研究機関が集積、水産業が主要産業のひとつになっていることなど、函館のもつ水産・海洋の優位性を生かし、これを伸ばすことで「国際的な水産・海洋に関する学術研究の拠点都市」を目指し、函館の地域発展に貢献する構想です。

さらに水産・海洋分野の裾野は広く、「環境」、「機械」、「土木」、「情報通信」、「観光」、「食」、「福祉」など、多岐にわたる分野と密接に繋がり、このためマリンサイエンスパークではこれらの分野を生かし、さらには連携を図るうえで中心的な役割を担っていきます。

水産・海洋に関する
学術研究機関の集積



地域と学術研究
機関の連携



国際的な水産・海洋に関する 学術研究拠点都市



観光と学術研究の
融合



水産・海洋と
市民生活の調和

これまでの経緯

- 15年 6月 函館国際水産・海洋都市構想推進協議会設立
- 17年10月 はこだて・シー・コンベンション2005開催
- 18年 4月 函館市産学官交流プラザ開所
- 19年 4月 函館市臨海研究所開所
- 20年 2月 弁天ふ頭着工式
- 21年 4月 一般財団法人函館国際水産・海洋都市推進機構設立
- 21年12月 マリンサイエンスパーク整備基本計画

国際的な水産・海洋に 関する学術研究拠点都市



会議所の うごき

第5回臨時議員総会開催

第5回臨時議員総会を去る12月3日、函館国際ホテルにおいて議員94人（うち、委任出席27人）が出席し開催しました。

当日は、本所役員・議員表彰規程による表彰が行われ、在任39年の高野会頭をはじめ13人のほか、退任議員5人を合わせた18人が表彰されました。

また議事に入り、報告事項5件のほか、附議事項1件の議案審議（新会員の加入について）が行われ、承認されました。

続いて、その他事項として（仮称）函館マリンサイエンスパーク整備基本計画（案）について、西尾市長から概略説明を受けた後、函館市国際水産・

海洋都市推進室の藤田室長から詳細説明を受け、総会を終了しました。



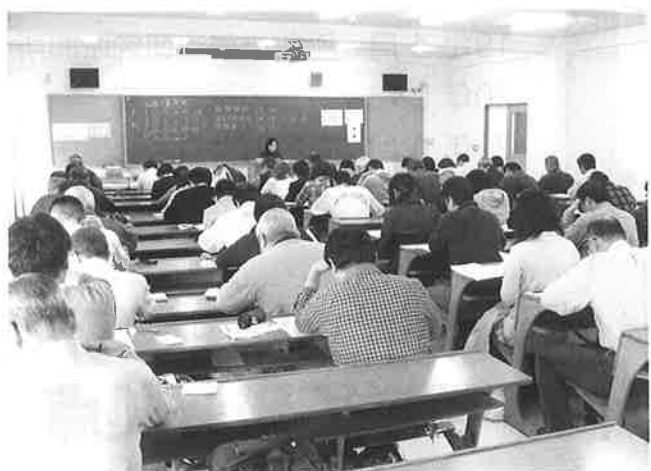
▲冒頭挨拶する森川副会頭

第4回はこだて検定開催

第4回目となるはこだて検定を去る11月8日実施し、上級・初級あわせて521名の受験者が、函館・道南に関する試験に臨みました。

今回は開港150周年を記念して、特別に首都圏に横浜会場を設置、熱心な函館ファン22名が受験しました。合格者は上級16名、初級108名となり、両級の最高得点者はいずれも札幌と東京の在住者で、函館ファンの関心の高さがうかがえる結果となりました。なお

今回で合格者は延べ1千名を突破しました。



▲試験に臨む受験者